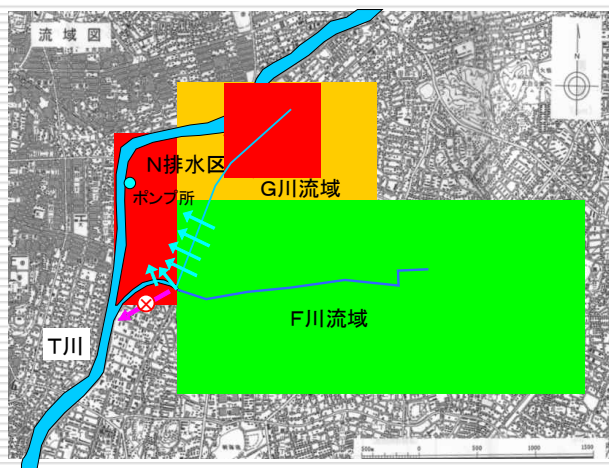


複雑化する都市の雨水排除システムの評価と対策

近年、降雨の空間的集中、継続時間長期化の傾向と、流域開発と雨水排除システムによる流出量の増加により、中小河川が流下能力不足や本川水位上昇による流下阻害に起因して氾濫し、またポンプ排水の能力不足等から内水氾濫も多発している。このことは、都市における従来の治水対策が機能しなくなる危険性が高いことを示している。計画規模を越えたときの雨水移動経路の変化を見据えて対策を考える必要がある。



流域の雨水流出抑制策は機能するか

雨水排水を集中から分散へ

計画規模を超えたときの減災対策

土地利用の誘導

河川改修の
効果の評価

シナリオに基づく
氾濫シミュレーションと
安全な避難